

## IV 調査・研究

### 1 主催講座等の修了者の受講後の活動状況

#### 1 「平成27年度ふるさとリーダー育成講座」修了者の受講後における活動状況

##### (1) 調査総括(平成28年7月時)

ア 調査状況		イ 講座修了後の活動状況		
修了者数	44		人数	割合
調査対象者数	44	講座修了後に活動した	27	64.3%
回答者数	42	活動していない	15	35.7%
回答率	95.5%	計	42	100.0%

##### ウ リーダー活動の状況(現在、活動中の27人について)

	人数	割合
生涯学習の推進的立場(リーダー等)として活動	18	66.7%
生涯学習を受動的立場として活動	9	33.3%

##### (2) 活動例

###### ア 個人として活動した事例

No.	氏名(敬称略)	主な活動内容	主な活動場所
1	大久保 秀行	年2回、鹿児島市において指笛コンサートとして奄美・沖縄の音楽を披露した。その他、ボランティアで福祉施設を数回訪問し、指笛を披露した。	鹿児島市福祉施設等
2	上村 勲	高齢者との交流を図ることを目的に、市内の喫茶店に集まり、歌を歌う(カラオケ)活動を行っている。	市内の喫茶店
3	吉田 伊都子	未就学児を持つ日常的に家にいる親子を月1回自宅に招いて、昼食を一緒にしながらいろいろな話をしている。実家に集う姉妹のように楽しんでもらっている。「自宅開放子育てサロンほっぺクラブ」	自宅
4	今福 太平樹	地域住民とのふれあい活動に参加(町内イベント等)。講座受講生との交流	町内
5	西前 省一郎	自宅で地元のグループと一緒に、お総菜等の販売をしている。	自宅

###### イ 団体等の一員として活動した事例

No.	氏名(敬称略)	団体等の名称	主な活動内容	主な活動場所
1	小原 恵子	上町タウンマネジメント 上町維新まちづくりプロジェクト	かんまち情報本の発行、上町タウンマネジメントや上町維新まちづくりプロジェクトでまち歩きボランティア活動を行っている。	公民館 市内
2	河野 誠郎	郡山地域ふるさとを学ぶ会 NPO法人八重の会	郡山地域の観光ボランティアガイド、月1回の定例会での自然、歴史、史跡の学習を行っている。八重の会の理事として、まち活性化のイベント開催、正月飾り、鳥の巣づくりなどを行っている。	公民館 八重山公園
3	長嶺 みどり	NPO法人残していきたい かごしま弁	月2回の例会でのかごしま弁の勉強会。子ども達にかごしま弁を教えるための寸劇等を行っている。また、施設等の訪問も行っている。	施設等

4	原口 信博	東昌校区まちづくり協議会	校区のまちづくり協議会の事務局職員として、各専門部の事業運営に関する資料作成やコミュニティプラン策定に向けてのアンケート調査及び集計・分析を行い、今後の振興計画作成に取り組んでいる。	東昌校区公民館
5	宝満 恭子	NPO法人残しておきたいかごしま弁	与論町で子どもを対象にかごしま弁の劇を実施。また、不定期に老人ホーム等に出向き、かごしま弁の劇を披露している。	施設等
6	吉福 浩介	川歩きよんご会	校区の成人学級の一環として始め、現在では、独立した自主活動として月に数回、地域の方々、子どもたちと地域の川の流域を散策しながらウォーキングを行っている。	稲荷川流域
7	横山 節子	いきいきサロン	2か月に1回、公民館において老人の方々を対象にレクリエーションや体操などを行っている。	公民館
8	廣澤 育代	いきいきサロン	公民館において、レクリエーションやリンパ体操などを行っている。	公民館
9	志水 香理	スクラウト	同世代でグループを作り、毎月1回横川駅で食品等の販売を行っている。今後はゴミ拾い、花壇づくりなどを企画計画している。	横川駅
10	竹下 利文	池山と周辺地域を元気にし隊	過疎化、高齢化した地域を活性化するために、昔から大切にしてきた水路や池又その周辺で「釣り大会」「蛍の繁殖と放流会」「植樹祭」を実施している。	岩北地区
11	後迫 純昭	いきいきサロン講座サロンTURAMISE	学校での交流会活動への参加を行ったり、月2回の歴史、史跡巡り等を行ったりしている。	野方小町内
12	鳥越 ノリ	お庭でマルシェ	手作りだんご、漬け物などの販売を集落で行っている。柳谷公民館（やねだん）でもこの販売を行った。	集落等
13	山下 海征	歩いて作って楽しもう会	ボランティアで学校でモノ作り、梅サワーづくりなどを行っている。今後は、仲間と連絡を取り合いながら、話し合いを行い、子ども達を含めた工房や梅づくり体験などを行っていききたい。	個人宅
14	片野坂 元男	下住環境保全協議会、水土里サークル	田の側溝整備、神社清掃、花を咲かせる活動など、「農村環境を守る」活動を進めている。	下住地域
15	渡邊 仁	役場	町内の子どもを対象に夏休みキャンプを実施している。	海岸
16	開田 華奈子	連合青年団	青年団活動への参加・協力を行っている。	種子島島内
17	浦門 玲奈	連合青年団	青年団活動への参加・協力を行っている。	種子島島内
18	鎌田 紘佑	連合青年団	青年団活動の一環である「ちびっ子フェア」を実施している。（今年度は5月4日に実施）	町内
19	鎌田 秀一郎	歴史の里坂井公園を活性化させよう会	坂井公園を活性化させるため、年末に公園内にイルミネーション飾りを行っている。また、古市家雛祭りへの誘導のための案内工夫を行った。	坂井公園
20	山元 兼夫	シニアソフトクラブ種子島ブルーロケッツ	花づくりボランティアとして花植の手伝い、各地域で行われるイベントの手伝いを行っている。	県内
21	古市 雪枝	町公民館婦人部	町婦人部の一員として町内で婦人活動を行っている。	町内
22	山田 千賀子	健康推進員助っ人隊	町健康推進員の助っ人として助っ人隊を結成し、各集落で行われる健康教室の健康体操の補助・支援を行っている。	各集落

## 2 メディア関係の講座受講者の活動例

No.	氏名(敬称略)	受講した講座	講座を生かしての作品制作及び実践
1	坂元 潤子	基礎から学ぶビデオ講座	今回のような講座を受講してみたいと思いを温めていました。パソコンが苦手な私ですが、今回ビデオ編集機能でどんなことができるのかを、担当の方の丁寧で分かりやすい御指導のもと楽しく学ぶことができました。この学びを活かして、今後は地域で素敵な活動をする人や素敵な場所などを紹介する映像を作りたいと考えてワクワクしています。
2	長島町立 平尾小学校 帖地 和美	校務に生かせるICT活用研修講座	本講座では、ICT活用として、「Word」による文書作成や「Excel」による表計算やグラフ作成を基礎から教えていただきました。「一太郎」で、ほとんどの仕事をしていたため、「Word」での文書作成は分からないことが多く、とても困っていましたが、2学期からの文書作成がとても楽になりました。また、使用できる関数の数が増えたので、成績処理も楽になりました。今後も教えていただいたことをいろいろと使っていきたいです。
3	指宿市立 丹波小学校 七夕 勉	教育メディア研修 (中級) 講座	本講座を受講したことで、情報教育担当者として、情報モラルや著作権及び様々なメディアを活用した授業の展開等について、理論的・具体的に研修を深めることができた。フレッシュ研修の際などの指導助言に役立った。また、場面や目的に応じてデジカメを活用する方法を習得したことで、これまで以上に効果的な撮影ができるようになった。
4	上野 徳史	ネット社会に対応した情報モラル講座	今回の「ネット社会に対応した情報モラル講座」を受講し、ネット社会のリスクなどの現状を理解することができた。また、適切な情報活用を行う基本的な考え方を習得することができた。これまでSNS(フェイスブック等)など交流サイトを利用した経験はなかったが、この講座で学んだことを念頭に、今後はこのような交流サイトも積極的に活用していきたい。
5	霧島市立 日当山小学校 亀崎 智明	鹿児島県自作視聴覚教材コンクール (パソコン部門最優秀賞)	本作品「4年外国語活動」は、本年度から霧島市内の小学校で年間35時間の外国語活動が始まったことを機に作成した教材である。その内容は、毎時間ごとに、子どもたちがねらい、活動の内容や流れを視覚的にとらえることができ、外国語活動の楽しさを味わうことができるように配慮している。本教材は、同学年の先生方に活用してもらいつつ、現在も継続して作成に取り組んでいる。

### 3 「来所研修」利用の自主グループの活動例

No.	サークル名 (活動内容) 代表者(敬称略)	具体的な内容 (結成のきっかけとなった講座)
1	リンクさんあい (ビデオ作品制作) 増田 勇	毎月第1金曜日に定例会を開催し、各自で制作した映像作品の相互鑑賞等を通して、技術や知識の向上を図っている。また、地域の様々な行事等を映像作品としてまとめ、コンクールへの出品や各種団体への寄贈も行っている。今後も、地域活動・自然・伝統行事の記録に積極的に参加し、楽しく、多くの映像作品を制作したいと考えている。 (デジタルビデオ編集講座)
2	フレッシュ薩摩 (ビデオ作品制作) 福永 道男	毎月第2・4木曜日に定例会を開催し、ビデオ撮影や編集、ビデオに関するコンクール・発表会への参加、講座のサポート・ボランティア活動、地域に密着した活動などを通して、生きがいづくりと社会への貢献を目指している。定例会では、作品を持ち寄り、相互に自由に意見を発言し合うことで、自分に不足しているものの考え方や編集の操作等が向上している。今年は、メンバーが15名となり、もっと多くの作品を制作していきたい。 (H20年度ビデオ撮影・編集術)
3	すみれ (ビデオ作品制作) 北角 幸人	グループを立ち上げて10年目のわがグループ「すみれ」は少人数の集まりですが、年齢が近いせいもあって”酸いも甘いも”熟知した高齢者の集まりです。「覚えるのは遅く」「忘れるのは早い」の老々グループですが、一昨年”若手”の加入で一気に活気が入り、各人が撮影した作品の相互鑑賞等で技術や知識の向上に向けて、更なる向上を目指している。 (H20年度ビデオ撮影・編集術)
4	デジタルアートさくら (ワードの図形による作品の制作) 石兼 美枝子	毎週火曜日に活動し、ワードの図形を使って絵を制作している。デジタルアートの新しい感覚の面白さや知識・技術を学びたいということでグループを結成した。ワードやエクセル、デジカメ講座のサポーターとしても手伝いをしている。また、2階の展示コーナーで作品を展示している。 (H20年度デジタルアート講座)
5	いちごちゃん (ワード・エクセル・パワーポイントによる作品の制作) 池増 美恵子	平成23年12月に作られた自主グループである。ワードやエクセル、パワーポイント、デジタル写真講座のサポーターをしている人が中心となり、各自のスキルアップをめざし、活動している。ワードやエクセル、パワーポイントによる作品制作を通して、更に知識や技術を高め、サポーターとしての資質向上を目的として活動している。 (H23年度講座サポーター)

## 2 県内の生涯学習推進状況調査

### 1 調査の概要

#### (1) 目的

生涯学習に関する県内の推進状況を調査することにより、事業の運営に生かすととともに、生涯学習環境の充実を図る。

#### (2) 調査の時期

平成28年4月

### 2 調査結果

#### (1) 大学・短大・民間教育機関・企業・団体等の平成27年度の事業数

(※ 「社会人の受入状況」は、平成28年度)

講座等開設機関等	講座数	計	受講者数	計	社会人の受入状況				
					特別試験等入学者数	28年度聴講・研究生等入学者数			
1 大学・短大等の公開講座	鹿児島大学	40	2,618	153	7,764	0	1,277	101	515
	鹿児島国際大学	13	532						
	志学館大学	2	402						
	第一工業大学	4	139						
	鹿児島純心女子大学	15	76						
	鹿児島県立短期大学	7	431						
	第一幼児教育短期大学	3	399						
	鹿児島女子短期大学	5	67						
	鹿児島純心女子短期大学	4	691						
	放送大学鹿児島学習センター	28	742						
	鹿児島工業高等専門学校	8	396						
2 高等学校(市立・私立・県立)	市立学校 実施校数	1	4	37	2,124	0	0	0	0
	私立学校 実施校数	3	3						
	県立学校 実施校数	12	30						
	国公立専修学校及び各種学校	4	15						
3 各種学校(開放講座)	私立専修学校	7	23	38	1,186	0	0	0	0
	専修学校	1	4						
4 企業・団体(講演会)	県経営者協会	34	1,883	266	10,044	0	0	0	0
	県商工会議所連合会	29	2,510						
	県商工会連合会	203	5,651						
5 民間教育機関	JRUGIAカルチャーセンターイオンモール鹿児島	150	438	1,281	27,718	0	0	0	0
	南日本放送MBC学園	313	2,100						
	南日本新聞開発センター文化教室みんなカル	349	2,194						
	南日本リビング新聞社リビングカルチャー倶楽部	270	6,500						
	山形屋文化教室	66	15,557						
	カルチャーセンターペアーレ徳州会	133	929						

#### (2) 県機関の生涯学習関連事業数

実施部署	22年度	実施部署	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度計画
知事部局	総務部	39	総務部	36	36	36	34	35
	企画部	5	企画部	5	5	4	5	5
	環境生活部	13	環境林務部	13	15	15	14	13
	保健福祉部	14	保健福祉部	15	15	14	14	14
	商工労働部	13	商工労働水産部	11	9	9	8	7
	農政部	9	農政部	9	7	7	7	7
	林務水産部							
警察本部	5	警察本部	5	5	5	4	4	4
教育委員会	102	教育委員会	108	112	117	117	133	137
合計	200	合計	202	204	208	206	219	222

#### (3) 市町村における平成28年度の連携事業(当初予定)

①	大学・短期大学・高等専門学校と連携して開設する生涯学習事業	9市, 1町	14件
②	専修学校・各種学校と連携して開設する生涯学習事業	1市	1件
③	中等教育機関(高等学校・中学校)と連携して開設する生涯学習事業	11市, 6町, 2村	34件
④	初等教育機関(小学校・幼稚園等)と連携して開設する生涯学習事業	10市, 5町, 2村	33件
⑤	企業等と連携して開設する生涯学習事業	7市, 2町, 1村	18件
⑥	民間教育機関(カルチャーセンター等)と連携して開設する生涯学習事業	1村	1件
⑦	民間団体(NPO等)と連携して開設する生涯学習事業	12市, 7町, 1村	39件
⑧	他市町村と連携して開設する生涯学習事業	9市, 6町	24件

### 3 学習ニーズ調査について

#### 1 調査の目的

平成28年度生涯学習県民大学講座参加者を対象に「今後受講したい講座テーマ」等について調査をし、今後の本県における生涯学習を推進するための基礎資料とする。

#### 2 調査の概要

##### (1) 対象

ア 生涯学習県民大学講座の受講者

##### イ 会場（県内10会場 26講座）

枕崎市，さつま町，湧水町，垂水市，錦江町，肝付町，中種子町，宇検村，喜界町  
かごしま県民交流センター

地区	実施会場	講座実施数	受講者数	回答者数(人)	割合(%)
南薩地区	枕崎市	2	51	49	96%
北薩地区	さつま町	2	81	63	78%
姶良・伊佐地区	湧水町	2	66	47	71%
	垂水市	2	34	28	82%
大隅地区	錦江町	2	107	98	92%
	肝付町	2	93	77	83%
熊毛地区	中種子町	2	79	73	92%
大島地区	宇検村	2	98	69	70%
	喜界町	2	113	97	86%
かごしま県民交流センター		8	291	268	92%
全体	10	26	1013	869	86%

##### (2) 調査方法

アンケートによる選択回答（複数回答）

【質問】 今後、受講したい講座テーマの番号を○で囲んでください。  
1 防災 2 地域活性 3 産業 4 環境 5 教育・育児 6 医療・健康  
7 介護・援助 8 その他

##### (3) 調査期間

平成28年6月～平成29年2月

### 3 調査結果

(複数回答)

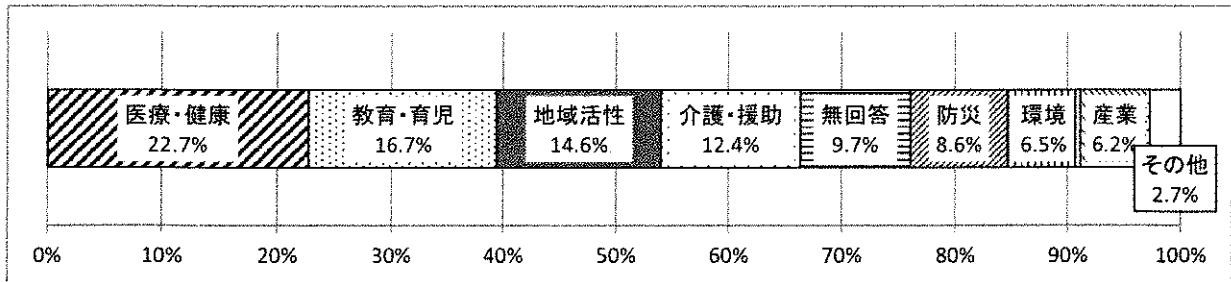
	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	不明	合計(人)
防災	2	3	7	15	37	35	23	12	5	139
地域活性	0	7	8	34	51	69	45	17	5	236
産業	0	4	7	9	23	33	17	2	5	100
環境	1	1	3	15	33	30	13	5	4	105
教育・育児	0	12	45	96	69	40	7	0	2	271
医療・健康	1	6	21	70	52	73	98	40	6	367
介護・援助	0	3	5	48	32	34	66	9	3	200
その他 ※	2	2	3	1	6	15	9	4	2	44
無回答	1	2	6	23	16	36	42	26	5	157
合計(延べ)	7	40	105	311	319	365	320	115	37	1619
回答者	5	20	66	173	157	182	179	70	17	869

#### 【その他 ※】

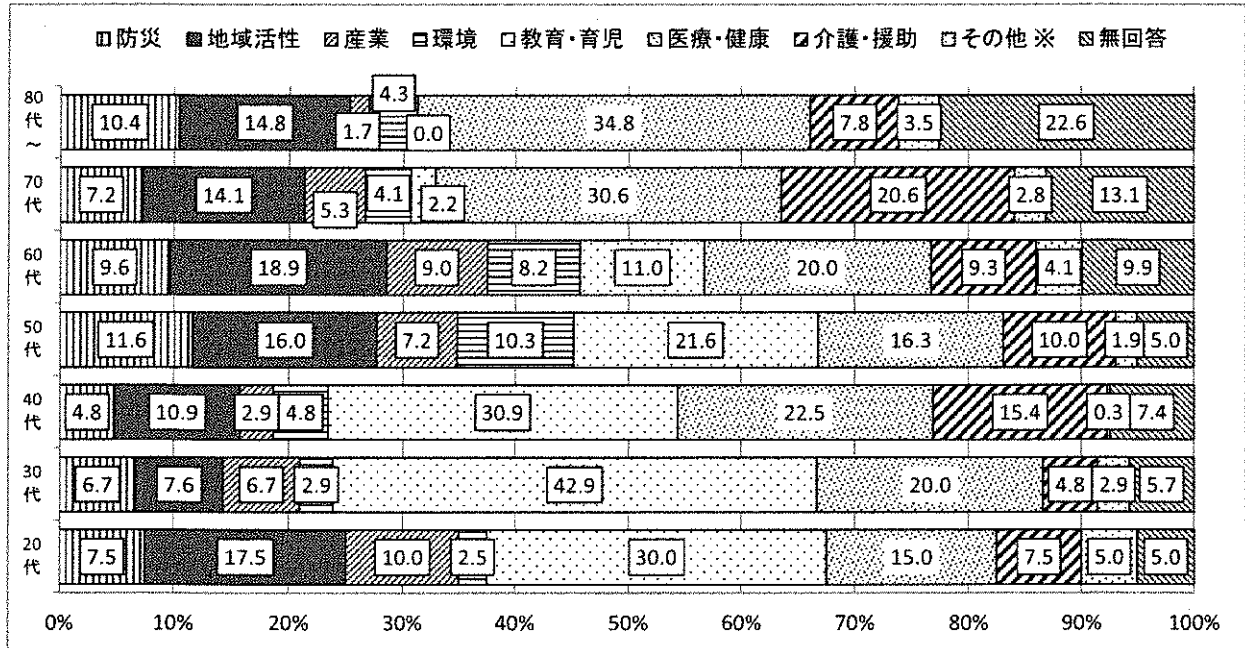
- ・地域における特色ある活性化運動の事例（60代男）
- ・長生きのための健康に関する食事の摂り方（80代女）
- ・人生の最終章に向けての生き方（60代女）
- ・鹿児島島の歴史や古代の南九州の歴史について（70代男）
- ・身近でできる健康法や体質改善（40代女）
- ・世界自然遺産や文化財（50代男）
- ・SNS、情報コミュニケーションの活用方法や仕組みについて（60代男）
- ・学習障害に対する取組や親や周囲の心構え（30代女）
- ・オリンピックや国体に向けての話（50代女）

(1) 受講したい講座テーマ (全体: 1,619人)

※複数回答



(2) 受講したい講座テーマ (年代別)



■ 特徴

- ・ 受講したい講座では、「医療・健康」が最も多く、次いで「教育・育児」、「地域活性」、そして「介護・援助」、「防災」、「環境」、「産業」の順であった。
- ・ 20代では「教育・育児」が圧倒的に多く、30代、40代、50代においても希望が多い。
- ・ 50代以降になると、「医療・健康」の講座を希望する割合が多い。
- ・ 「地域活性」は60～70代で希望する割合が高い。
- ・ 「医療・健康」の割合がどの年代も高いが、特に70～80代では3割以上と高くなっている。
- ・ 「介護・援助」は、40代から70代までが、講座を希望する割合が多い。

## V 「かごしま県民大学」推進協議会

### 1 趣旨

県下全域を生涯学習のキャンパスとする「かごしま県民大学」を推進するため、本県における生涯学習の現状と課題を把握するとともに、課題解決のための方策等を協議する。

### 2 開催日時

平成28年8月9日(火) 10:30～12:00

### 3 開催場所

かごしま県民交流センター 小研修室

### 4 委員(13人)

平成28年度改選(任期：平成28年7月1日～平成31年6月30日)

○印は、平成28年度推進協議会出席者(8人)

#### (1) 市町村関係者(2人)

大 堂 洋(鹿児島市教育委員会生涯学習課長)

○中 村 洋 志(南九州市教育委員会教育長)

#### (2) 大学関係者(3人)

岩 橋 恵 子(志学館大学生涯学習センター長)

○金 子 満(鹿児島大学教育学部生涯教育総合課程地域社会教育専修准教授)

○菅 沼 俊 彦(放送大学鹿児島学習センター所長)

#### (3) 民間関係者(5人)

ア 民間教育機関代表

坂 口 猛(南日本新聞開発センター文化教室みんカル社長)

イ NPO代表

○中 野 恭 子(NPO法人かごしま遺伝子活用普及協会理事長)

ウ 主催講座講師代表

大 谷 宏 子(かごしま県民大学中央センター主催講座講師)

エ 主催講座受講者代表

○小 宮 智 子(かごしま県民大学中央センター主催講座受講者)

○池 増 美 恵 子(平成24年度「メディア研修講座」受講者)

#### (4) 県関係者(2人)

○濱島 敬子(県立霧島自然ふれあいセンター所長)

久 保 博 一(県総務部県民生活局生活・文化課長)

#### (5) 公募(1人)

○瀧 川 憲 洋(鹿児島市西伊敷校区あいご会会長)

### 5 議長

濱島 敬子委員(委員による互選)

### 6 協議のテーマ

「県民の生涯学習への意欲的な取組を促す工夫・方策等について」

### 7 協議の項目

(1) 平成28年度主な事業について

(2) 事業実のための方策について

(3) その他



## 8 主な意見(抜粋)

### (1) 平成28年度主な事業について

ア かごしま県民大学が主体であれば、県民大学の役割を明確にすべきである。県民大学として何を重点的にしていったらいいのかという方向性と絡んでくると思う。民間に任すべきことと、県としての生涯学習の役割をはっきりすべきである。

イ 今、地域の中だけでは解決できないことを広域的に、それぞれ連携した活動を支援していくことが大事である。広域的な課題にどういうふうにそれぞれの市町村を連携させていくのかということも大事である。

また、情報の提供というところで、いろいろな活動したものを記録し、資料として県が残して、ファイリングし、いつでも活動したいときのサンプルとなるものを準備し、ここに来ればいつでも情報を見ることができるようにするとよい。

ウ 県民大学としては、県民の風土づくり、雰囲気作りが大きな役割であると思う。県としてやるのはリーダー養成である。市町村レベルでもできるが、県全体をリードしていったりとか、情報を集約して周知していったりすることが県が一番ダイナミックにできることである。そのことが県民の学びの意欲につながっていくというふうに捉えていくことが大事である。

### (2) 事業充実のための方策について

ア 県民の方々がこの講座を受講してみようと思うのは、パンフレットが一つの重要なポイントになると思う。

70代以上は、インターネットを使わない人が多いので、アナログ的なパンフレットが重要な位置を占めると思う。

イ 県民大学講座を受講した受講生と事務局が一緒になってパンフレット作成プロジェクトチームを作ってパンフレットを作成したらどうか。おもしろいのではないかな。

ウ 講座やイベント情報を探したときに、鹿児島県はまとまったイベント情報がない。市内でも県でも全体の統一したイベント情報などをまとめてほしい。あるサイトで見たら、イベント等の情報が全部分かるというふうにしてほしい。

エ 県民大学手帳はいいことだと思う。受講者の中には証をほしがる方もいるので、そういうのが実現できると一つの県民の意欲を高める方向になると思う。パンフレットのちょっとした工夫一つでも足を運ぶ状況が生まれるのではないかなと思う。

オ 例えば子育て世代でも意欲はたくさんある。しかし子どもを預ける場がない。ちょっと手立てを考えていくことで年代層も広がりができて、まさしく県民交流センターの意義、県民大学の意味が広がるのではないかなと思う。

カ このニーズ調査は、受講者のみの調査である。県民全体とは言わないが、もう少し一般の人にニーズ調査を広げられないかなと思う。本当は行きたいけれど行けない、そういう方々のニーズを把握する手立てはないかなと思う。受講者のみではなく、広げる方策を難しいかもしれないが考えていただきたい。

## 平成28年度 かのしまの生涯学習

(かごしま県民大学中央センター事業報告書13)

平成29年4月発行

編集・発行 鹿児島県教育庁 かごしま県民大学中央センター

住所 〒892-0816 鹿児島市山下町14-50(かごしま県民交流センター内)

生涯学習課 学習推進係 TEL 099-221-6604 FAX 099-221-6640

生涯学習課 学習情報係 TEL 099-221-6606 FAX 099-221-6642

E-mail kenmindaigaku@pref.kagoshima.lg.jp(共通)

ホームページアドレス [http://www.kagoshima-pac.jp/functions/central\\_center-2/](http://www.kagoshima-pac.jp/functions/central_center-2/)